

# 文句ばあさん

## その4

もんくばあさん



作:近藤せいけん



#### 文句ばあさん その4

いつしか夏がゆき、天が高くなり、涼しい秋風が吹く頃になりました。

秋野菜のシーズンがやってきました。

畑に植えられている、秋野菜かぶ、大根、みょうが、ホウレンソウ、キャベツ、ブロッコリー、白菜など、またサツマイモやごぼう、にんじん、じゃがいも、カボチャ大変種類も豊富です。

毎日、水やり、たい肥まき、雑草をぬく作業、広い畑はやることが沢山あります。

おばあさん、あけみちゃん、勇太、時々、おじいさんが手伝い、畑仕事は続きます。

おばあさんはいつもの歌を歌います。

「かぶ、かぶ、かぶ、大きくなれ、大きくなれ、ダイコン、ダイコン、ダイコン、大きくなれ」  
勇太も歌います。

「ホウレンソウ、ホウレンソウ、ホウレンソウ、青くなれ、にんじん、にんじん、にんじん、赤くなれ、ハクサイ、ハクサイ、ハクサイ、白くなれ」

「サツマイモ、サツマイモ、サツマイモ、大きくなれ、甘くなれ」

畑仕事が終わると、楽しいお茶の時間です。

今日はいただき物の甘いヨウカンの輪切りが出てきました。

「いただきます。このヨウカン、甘い、美味しい、うれしいな」

「勇太、行儀よく食べなさい」

「ねえちゃん。だって美味しいんだもの」

「いいんだよ、勇太君、もう一つ、お食べなさい。ホ、ホホホ」

「うわあ、ありがとう。ぼくヨウカン好きさ。だって美味しいんだもの」

「ワハハ、ハハ。そうだね。甘いね、アハハ、ハ」

「それにねえ、サツマイモが採れたら、焼き芋にして食べようね」

「おまえは食べる物のことしか言わないねえ・・・」

「いいのよ、そうよね、採れたら焼き芋にして食べようね。オホホ、ホ、ホ」

今日はお母さんがパートの仕事が早く終わり、おばあさんの家に立ち寄りしました。一層にぎやかにになりました。

あけみちゃんも勇太もうれしそうです。

「お母さんも来たことだし、夕飯はバーベキュー会を庭でしましょう」

「わあー本当、うれしいな、」

「さあ、さあ、そうと決まったら、バーベキュー会の準備をしましょう」

「肉類、ソーウセイジ、焼肉のたれはスーパーに行って買ってきます」

「そうね、お願いするわ」

「それじゃ、おじいさんと勇太はバーベキューの鉄板、炭、レンガづくりをして下さい」

「あけみちゃんとおばあちゃん、野菜の取り入れとジャガイモ、サツマイモ、タマネギ、トウモロコシの仕込みをしましょう」

「さあ、さあ、いそがしいよ。皆でかかれ！」

「ワハハハ、ハ、ハ、かかるぞ〜」

夕刻、バーベキュー会が始まりました。

「勇太！準備はいいかいー」

「はい、準備完了」 「ようし。かかれー」

ジュジュという、肉を焼く音、煙、いい臭いが辺り一面に広がりました。

「ワアーいい臭い、おいしそう。早く食べたいなあー」

「オ、ホホホ、ホ、サアー焼けた、沢山お食べなさい」

「はいーいただきます〜」

どら猫たちも集まってきました。

秋の夜長、楽しい笑い声がいつまでも続き、いつのまにか頭上にまんまる、お月様が出てきました。